

ホタルの便利 No.3

令和2年(2020年) 7月12日
吉身川のホタルを守る会 発行

祝守山市制50周年 吉身川 ホタル指定保護区域になる！

皆さまのお力添えで、R02年4月～ 吉身川の吉身小学校エリアが、守山市ホタル条例「指定保護区域」に

絶滅(ぜつめつ)から救おう！ 市街地域のゲンジボタル！

続く困難・・・244匹 →80匹 → **R02年 84匹(なんとか生き残った！)**

2018年6月18日、 (たまごがいっぱい、草についている時の) 枝きり・草刈りでたくさんのたまごが失われる
2019年3月、 (川の中でカワニナを食べて大きく育った幼虫が上陸をめざす直前に) 川のせき止め工事で幼虫が失われる
2020年4月14日、 (ホタル発生期の1ヶ月前に) 川岸のすべての中低木を根っこから切断、ホタルが飛び・とまる枝木がなくなる
吉身川の吉身小学校エリアでは、「幼虫の放流」にたよらず、貴重な自然のゲンジボタルが生き続けています・・・

守山市への協力依頼

指定保護区域になっても、ホタルの生態を理解しないと、ホタルの危機は続きます・・・

2020年4月24日、 毎年行われる、吉身川の、川岸の剪定(枝打ち・草刈り)工事のやり方について
守山市役所で
吉身小学校長、教育委員会総務課長、環境政策課長・担当の方々にお集まりいただき、
ホタルの生態に沿った工事をお願いしました。

活動の報告

4月27日 吉身小学校長に、夜間利用時の体育館の暗幕と門灯の協力依頼(毎年恒例)
ホタルが川にいない限られた時期(4月の上陸を経て～5月の地中のサナギの期間)に川掃除
5月2日(土) 9:00～ 恒例の遮光板を「ベルタ吉身」の了解を得て、取り付けました。
引き続き、川の掃除をしました。空き缶やビン、ビニールなどを拾い上げ、コーナーのヘドロを流しました。
今年から、吉身公民館の協力を得て、一輪車を借り受け、川のゴミを引き取っていただきました。
ご近所からの土嚢袋などのご協力もありありがとうございました。
たくさんのホタルが集っていた野バラやススキの株は、残念なことに除草薬で根っこから枯れていました。
守る会の会員(子どもさん～大人)17名のご協力、ありがとうございます。

5月9～6月10 ホタルカウント 観察ポイントNo25

吉身川のホタルを守る会「10年の活動誌」 カラー版 限定出版

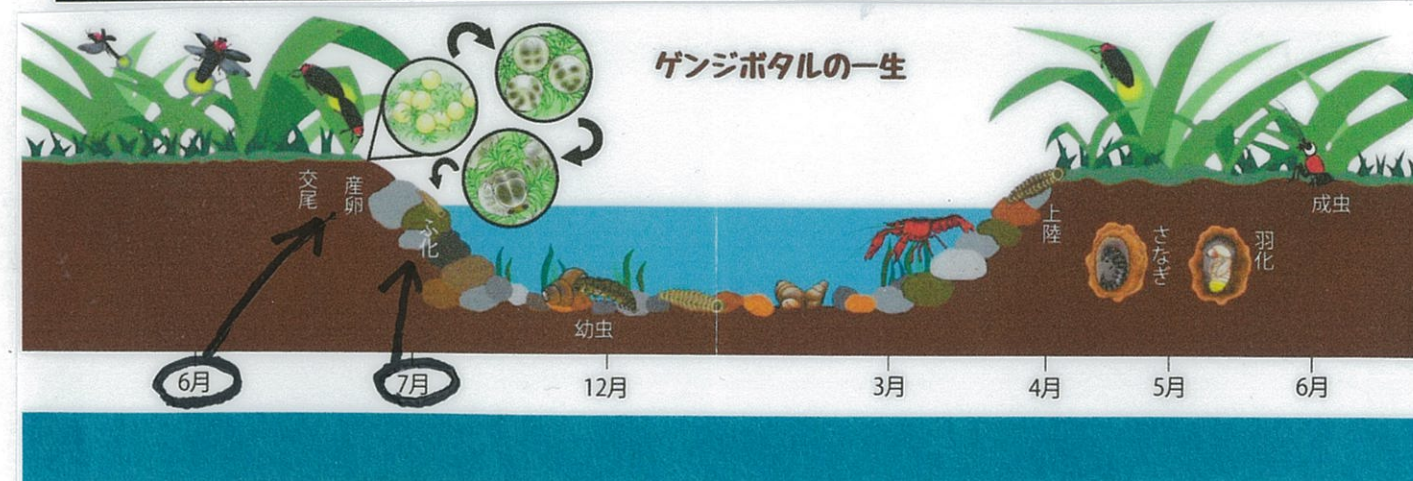
6月10日 市立図書館に寄贈 1階ホタル資料コーナーにて 供用開始となりました！
吉身川でのホタルの「上陸、交尾や産卵、飛翔」の写真をカラー版で掲載
市街化に伴う工事の問題や、守ってくれる子ども達の様子、取り組みの資料も掲載しています
(肖像権のご協力ありがとうございます)

6月20日 遮光板の取り外し

市民提案型まちづくり支援事業(市民共働課)に 応募

6月20日 「吉身川のホタルを守る会」の名称で
これまでの地域住民によるゲンジボタルの保護活動の継続の必要性を訴える
6月30日 「まちづくり事業」として助成の決定をうけました。
LED街灯などの照度調節研究や、市の行政・自治会などとの連携を求めていきたいと思います。
吉身川に自然発生しているゲンジボタルを守っていくための、地域の多くの方々のご賛同を呼びかけます・・・！
取り組みのアイデアなど、お気軽にお寄せ下さい。

ホタルはいま・・・どうしてる？



6月1日に草刈り
に産卵の卵は
1ヶ月後に
孵化。

幼虫(7～4月)
●体長2mm前後の孵化(ふか)
したばかりの幼虫は、川(水中)
に入り、カワニナの稚貝を食
べる。

7月1日ごろ
孵化し、川に落ちる
ホタルのベビー(幼虫)の誕生です！

皆様のご支援をお願い申し上げます。
会員登録へのご協力をお願い致します。
「吉身川のホタルを守る会」代表 白崎和彦
090-1916-1253